

“福島”の苦しみ繰り返すな

いわき駅前で抗議行動

川内原発の再稼働に、原発事故で苦しむ福島県民から怒りの声が上がっています。

「満身の怒りで震える。日本は国民の声を踏みにじる国だ。国民の声が排除されている」と抗議するのは、「生業（なりわい）を返せ、地域を返せ」福島原発訴訟「原告団の

中島孝団長です。

「いったん事故が起きたら、甚大な被害をもたらすのが原発。福島と同じ苦しみが川内でも繰り返されてしまう。原発ゼロへの反撃のきっかけにします」と力を込めます。

元の生活を返せ・いわき市民訴訟原告団の佐藤三男副団長はこの

日、JRいわき駅前で原発ゼロを訴える「イレブン行動」に取り組みました。

「いつもよりも訴えを聞いてくれた」と佐藤さん。「国や電力企業は福島県民の体験を何だと思っているのか！『3・11』から4年5カ月になるのにいまだに事故原因も解明されていない。許せない。安倍政権は打倒し

かない」と話しました。

福島原発避難者訴訟原告団の金井直子事務局長は「人の命や生活よりも経済の利益を優先する弱者切り捨てです。仮設で生活している人たちは困窮しています。そうした人たちの声を拾い、これからも団結して行動していく」と決意を新たにしています。